

平成29年度 第2回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会 資料内容についてのご意見・ご質問

該当箇所				ご意見・ご質問の内容
NO	資料	ページ	項目	
1	1	P 3	3番 4番	<p><u>「相談支援事業」及び「相談支援機能強化事業」に関連して【意見】</u></p> <p>基幹相談支援センターには、「専門性の高い相談員を配置する」、また「委託費や役割等の整理を行う」旨の記載がある。 国が設置促進している基幹相談支援センターには、総合相談・専門相談、いわゆる困難ケースへの助言や対応、権利擁護や虐待防止、地域の相談支援体制の整備・強化、人材育成などを行う高度な役割が求められている。このような重要な役割を担うには、専門性（技術、知識、倫理）の高い職員配置が必要と考えられることから、本市においても、理想的な人員配置が実現できる人件費等の予算措置を講じて頂きたい。</p>
2	前回分科会の議事録から			<p><u>一人の相談支援専門員が担える利用者の上限数の設定について【意見】</u></p> <p>前回の分科会の議事録によると、計画相談支援を担っている相談支援専門員について、計画相談支援利用者693人を、委託相談支援を担う相談支援専門員も含めた、計13人で割るという単純計算では、相談支援専門員が置かれている実態を表すのに十分ではないと考える。委託相談支援及び計画相談支援を一体的に行っているという旨の説明は理解しているが、真に必要な、適正な相談支援専門員の配置がなされるよう、今後も多角的な検討をお願いしたい。</p>
3	3	P 1 7	問 2 3	<p><u>「問23-どのようなときに差別や嫌な思いをしましたか」及び、「問17-障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか」に関連して【意見】</u></p> <p>問23の回答として、「2-職場や学校でのつきあい」、「6-お店などの店員の対応」、「5-地区の行事など」の順で割合が高い。また、同様に、問17の回答でも、「5-職場全体の障がい者理解」、「6-職場の上司や同僚に障がいの理解があること」の順で回答が多い。このような現状を課題と見た場合、地域の方々への障がい者の理解を促進する方策を考えていく必要がある。</p>
		P 1 2	問 1 7	